

竜海中生 ジャズの魂学ぶ



バンドメンバーから指導を受ける吹奏楽部の生徒たち＝岡崎市明大寺町の竜海中で

スウェーデンのバンド 指導

岡崎市と姉妹都市提携して五十年を迎えたスウェーデン・ウッデバラ市からジャズバンド「ボーヒュスレーン・ビッグバンド」が来日し、岡崎市明大寺町の竜海中学校で十五日、吹奏楽部の生徒らを指導した。

担当するヤーン・エリアソンさん(金丸)が指揮をした。エリアソンさんは十五年前にも来日し、岡崎市の中学校で音楽指導もしている。「日本の子どもたちにまた教えられるのはとてもうれしい」と語った。

部員四十九人とバンドメ

ンパー十五人が入り交じって金管や木管パートに分かれて座った。生徒たちがジャズ特有のリズムに苦戦するなか、エリアソンさんは

た演奏となった。杉坂和俊顧問は「見違えるようになった」と驚嘆していた。指の動かし方などをメンバーと英語で会話しながら確認する生徒もいた。クラリネット奏者で三年生の浅見思葉さん(モ)は「言葉は分からなかったけど、リズムに乗ることができて楽しく演奏できた」と笑顔で話した。

バンドメンバーと部員たちは練習後、全校生徒ら約九百人の前で練習成果を披露。リズムカルな演奏に会場は盛り上がり、自然に手拍子や歓声を送られた。バンドメンバーは竜海中の校歌も演奏。ジャズ風にアレンジされ、聞き慣れない校歌に「すごいなー」と漏らす生徒もいた。

(鎌田旭昇)